

芥川賞作家

平野啓一郎氏 講演会

「文学と人生」



©ogata_photo

2023年

11/17 (金) 15:00~16:30

(14:30 開場)

場所

ユメニティのおがた ~~小ホール~~

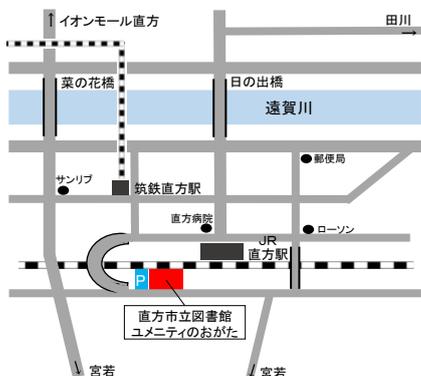
大ホールに変更しました

定員

~~200~~ 400名 (先着順)

※10/21(土)から図書館にて整理券の追加配布をします。
当日も空きがあればご参加いただけます。

入場無料



関連企画

10/17
(火)~

特設展示

「平野啓一郎特集」

11/3
(金祝)

映画上映

「マチネの終わりに」

お問い合わせ
直方市立図書館

〒822-0034 直方市山部 301-11

【TEL】0949-25-2240 【FAX】0949-23-3902

【開館時間】火~土 10:00~19:00 / 日・祝 10:00~17:00

《主催》輔仁会

《共催》税理士法人ちくほう / (公財)直方文化青少年協会

平野 啓一郎 氏 プロフィール

1975年愛知県蒲郡市生まれ。北九州市出身。京都大学法学部卒。

1999年在学中に文芸誌「新潮」に投稿した『日蝕』により第120回芥川賞を受賞。40万部のベストセラーとなる。以後、一作毎に変化する多彩なスタイルで、数々の作品を発表し、各国で翻訳紹介されている。

著者に、小説『葬送』、『滴り落ちる時計たちの波紋』、『決壊』、『ドーン』、『空白を満たしなさい』、『透明な迷宮』、『マチネの終わりに』、『ある男』等、エッセイに『本の読み方 スロー・リーディングの実践』、『小説の読み方』、『私とは何か「個人」から「分人」へ』、『「生命力」の行方～変わりゆく世界と分人主義』、『考える葦』、『「カッコいい」とは何か』、『死刑について』等がある。

2019年に映画化された『マチネの終わりに』は現在、累計60万部超のロングセラーとなっている。

『空白を満たしなさい』の連続ドラマ化に続き、『ある男』を原作とする映画が2022年秋に公開。

最新小説は、「自由死」が合法化された近未来の日本を舞台に、最新技術を使い、生前そっくりの母を再生させた息子が、「自由死」を望んだ母の〈本心〉を探ろうとする長編『本心』。

10/17(火)～11/17(金)

図書館内の特設コーナーにて
平野啓一郎氏の著書を展示しています



映画上映

11/3(金祝) 14:00～ (13:30開場)

場所 ユメニティのおがた 小ホール

定員 200名

申込不要／入場無料



【ストーリー】

世界的なクラシックギタリストの蒔野聡史(福山雅治)は、公演の後、パリの通信社に勤務するジャーナリスト・小峰洋子(石田ゆり子)と出会い、二人は惹かれ合う。洋子に婚約者がいることを知りながらも、想いを抑えきれない蒔野は、洋子への愛を告げるが…。

《監督》西谷弘 《脚本》井上由美子 《主演》福山雅治、石田ゆり子、伊勢谷友介、桜井ユキ ほか
《上映時間》124分 《製作年》2019年